



平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神と呼ばれる。(聖書より)

## 巻頭言「こんな時だからこそ」

2022 の上半期もコロナ禍で始まり、またこの夏には第7波が全国を襲い、大変な感染拡大となりました。その中でも NCM ジャパンは活動を止めず東京事務所を中野区に移転し、京都事務所では子ども支援を試行錯誤しながら進めて参りました。

昨年開催した『北海道：利尻プロジェクト』母子家庭の子どもを1週間・利尻島の漁師さん(小坂善一氏)宅でホームステイ。漁業体験やキャンプ体験(室田氏)、島の子ども達との交流(廣瀬氏)を今年も実施しました。中高生3名と大学生4名を現地に派遣し、無事にプロジェクトを達成しました。そちらについては今回初参加の長縄さんより報告が届いております。

このプロジェクトが今後発展できるように現在、京都市とも協議を行っております。より良いものになるように引き続き応援ください。

## NPO 法人 NCM ジャパン代表 篠澤俊一郎

京都事務所では夏休みの期間は、花園教会・花園ジョイフル子ども会の協力の下、平日毎日、学習会を実施。延べ70名の子どもが利用しました。私たちは、子どものかけがえのない時間を『コロナだから』と潰すことはできないという使命の下、上半期も活動してまいりました。

今回のニュースレターは、利尻島経験よりその使命に燃えた若者の活動記録を掲載。そして当団体が東日本大震災後の支援の中で任意団体から NPO 法人化した際に尽力なさり、この春に天へと帰って行かれました故大瀬勝昭さんの特集記事を掲載させて頂いております。

NCM ジャパンは多くの方々に支えられている事を、これらを通して実感しております。どうぞ引き続きご支援の程、よろしく願いいたします。



## 今月の内容

### 第二回利尻プロジェクト

東日本大震災支援から  
～大瀬勝昭氏を偲ぶ～

### 会員募集

## ● 第二回利尻プロジェクト(前半)

私たちは8/15~19に利尻・京都島活プロジェクト2022として、利尻島で五日間を過ごしました。

当日に至るまでには何度もミーティングを重ね、計画を立ててきました。

楽しみで期待に胸を膨らませながら、不安な気持ちも抱きつつ京都を出発しました。

1日目はほとんどの時間を移動に使い、疲れながらもキャンプを行いました。

飯盒炊爨やカレー作りでは全員が役割をもって行い、“みんなで作ったカレーライス”を作

ることが出来たと思います。自分たちで時間をかけて作ったカレーはやはり美味しく、記憶に残る味になりました。

ここまで順調に進んでいたプロジェクトでしたが、二日目にして天候不順のため、多くの計画が変わっていきました。

しかし、その中でも子どもたちはどの場面でもいきいきと活動する姿を見せてくれました。利尻博物館では多くの動物や虫の剥製が展示され、その迫力に圧倒されました。

普段から花園教会水族館で生物と共に過ごしている子どもたちは、動物や虫の剥製の展示や資料を真剣に見ていました。自分の興味と合わせながら学ぶ姿が見られ、京都での普段の生活と利尻島とのつながりが見えた時間だったと思います。(後半へ続く)



# ～東日本大震災支援から～ 大瀬勝昭氏を偲ぶ

現 NCM ジャパン副理事で仙台富沢ナザレン教会の牧師の阿部頌栄さんが、東日本大震災後、復興支援に尽力を尽くされ、NCM ジャパン理事でもあった大瀬勝昭氏の思い出を語っていただきました。

大瀬勝昭さんが2022年4月に召天されました。大瀬さんは、2011年からJNCM(ナザレン教団国際援助委員会)の現地スタッフとして東日本大震災の支援活動を宮城県東松島市で展開してくださいました。

その後、NPO 法人として NCM ジャパンが設立される中で、創立メンバーとして会の立ち上げに尽力してくださいました。

生前のお働きに心から感謝しつつ、生前のお交わりを懐かしく想い起しております。NCM に関わる事柄について少しだけ記させていただきます。

大瀬さんは、JNCM の働きを始めてくださったのは東日本大震災の被災者支援が中長期化する中でのことでした。



大瀬さんは毎週埼玉県から自家用車で被災地に来てくださり、地域に根ざした活動をしてくださいました。津波で大きな被害を受けた、東松島市の特産であった牡蠣や海苔、わかめの養殖業の支援で、商品と共に被災地の声を届けることに尽力してくださいました。

関わられた「えんまん亭」は今も野蒜地区で元気に営業されています。一大ブランドになった「おのくん」の小野仮設住宅にも関わって、広報と販売に関わってくださいました。



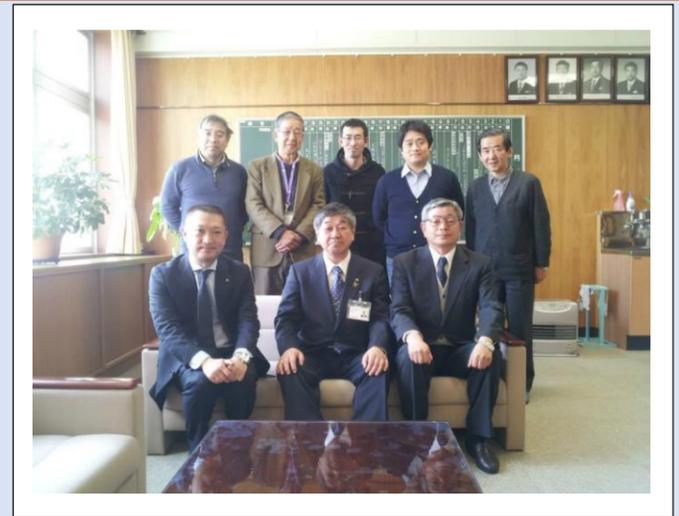
NCM ジャパン東松島事務所「ゆうあいホーム」



漁業支援ボランティアの調整役も担って下さった

仮設住宅でのお茶っこ映画会は大好評のお働きでした。地域の方々の憩いの場となりました。仮設住宅が撤収された後も、地元の方が引き継がれて地域の繋がりを作る土台となりました。

大瀬さんが最もお心を注がれたのは、東松島市の各小学校の支援でした。中島大祥堂さんの協力を得て展開されたお菓子の支援をきっかけに、学童で子どもたちと積極的に関わり、学習支援を行われました。そしてそれを通して子どもたちの笑顔が本当に取り戻されるようにと尽力してくださいました。



学習支援の会合後、教育長の工藤先生と共に



おのくん誕生の小野仮設住宅にて、大瀬さんを中心に

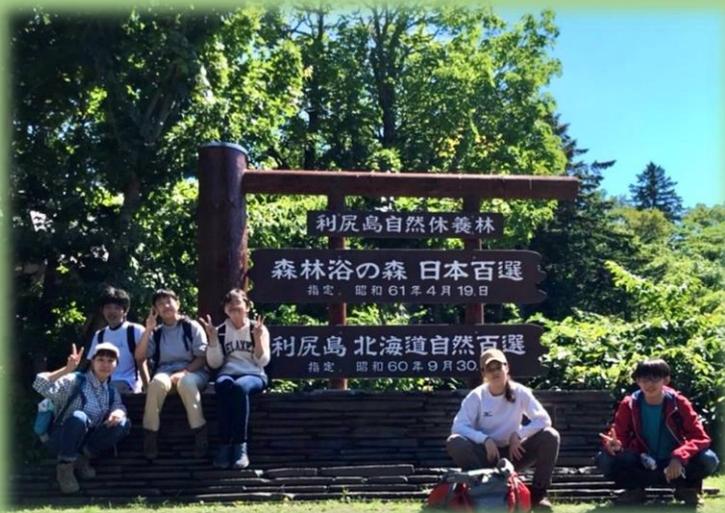
大瀬さんと一緒に矢本小校に訪問した際のことを思い出します。当時、急きょ増設されたプレハブの学童施設で、子どもたちや学童スタッフの方と和やかに遊ばれている大瀬さん。

話を聞いた数日後にもってきてくれたと、子どもたちが嬉しそうに話してくれた手作りの卓球台。その活動のすべてが大瀬さんの暖かいお人柄の表れであったようでした。大瀬さんの培ってくださった経験と財産は、今もわたしたちの活動の大切な指針であり、土台となっております。ご家族の皆さまへの主の慰めを祈ると共に、大瀬さんのお働きをこれからも導きとして、わたしたちも歩んでまいりたいと祈っております。



本当にありがとうございました。

## ● 第二回利尻プロジェクト(後半)



利尻山登山やサイクリングでは写真で見ていた利尻島の有名な景色を多く見ることが出来ました。

その景色を見るために山や坂をのぼるのはとてもしんどかったです。予想とは違い、子どもよりも大学生の方がついていけず、子どもの体力に驚きました。とはいえ、子どもたちもしんどい気持ちは同じはずです。しかし、一度も弱音を吐かずに歩き、走り続けていました。

利尻島では現地の子どもたちと交流する機会がありました。色んな話をする中で京都と利尻の違いを感じることもできたかと思います。これからもオンラインを通して交流する話もできています。

ますますお互いを知ることが出来ると思うととても楽しみです。そして子どもたちは、漁師さんのお宅泊まらせていただくという貴重な経験もしました。お宅で生活していく中で漁師さんの朝の早さを知ったり、実際にウニ剥きを見せて頂いたりし、特にすべて手作業一つ一つを剥いていることに「大変そうだ。」「難しそう。」「どうやって分けているのだろう。」などそれぞれ色々なことを感じたと思います。その経験が今後どんなことに繋がっていくかは分かりませんが、必ずどこかで生かされていくと思います。今回子どもたちは遊びではなく学びとして利尻島で5日間を過ごしました。それぞれが様々な場面で沢山のことを吸収したと思います。その吸収したことを外に出していけるよう私たち大人がサポートしていきたいと思っています。

また、今回できた様々な利尻島とのつながりをこれからも大切にしていきたいと思っています。(同志社女子大:長縄茉優)

### 賛助会員を募集しています!

お申込み方法

NCM ジャパンの活動:

災害支援・子ども支援・国際支援を行っています。

それらの活動の下支えは、賛助会員の会員費・寄付等で支えられています。

どうぞ NCM 活動にご協力・ご支援の程、宜しく願いいたします。

① いずれかに【氏名・住所・口数】をお送り下さい  
NCM ジャパン事務局

・メール [ncmjapan.ncm@gmail.com](mailto:ncmjapan.ncm@gmail.com)

②口座にお振込下さい。

●ゆうちょ銀行

口座番号が新しくなりました

【口座番号】00190-8-421766

【名義】トクヒ)エヌシーエムジャパン

●他の金融機関

【店名】019(ゼロイチク)

【店番】019

【預金種目】当座預金

【口座番号】0421766(※末尾の1は不要)

	入会金 (入会時のみ)	年会費 (毎年口数変更可)
個人	2000 円	6,000 円/口
団体・法人	2000 円	30,000 円/口

企業・団体様よりご支援いただいています。

- ・(株)王将フードサービス様:餃子&唐揚げ弁当 65食
- ・「肉の大橋亭」様: レトルトパック180袋
- ・「きもとファーム」様: 料理酒 6本
- ・「緑のゆうき」様: 野菜段ボール1箱
- ・森永製菓株式会社様: チョコボール 40 個
- ・NPO 法人いのちのパン様: お米✕20 キロ

発行者:特定非営利活動法人 NCM ジャパン

東京都認証(設立認証:2015年6月4日)

代表理事:篠澤俊一郎

東京事務所が移転しました。

東京事務所 東京都中野区弥生町 2-39-11

京都事務所 京都市右京区太秦安井辻ノ内町 10 番地 1 号

メール:[ncmjapan.ncm@gmail.com](mailto:ncmjapan.ncm@gmail.com)

HP:<https://www.ncmjapan.org/> SNS:Twitter @ncmjapan